

提出 順番	No. 6	平成 28年 6月 2 日 午前 午後 3 時 10分受領
----------	----------	----------------------------------

平成 28年 6月 2 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 藤谷 謹至



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 災害時等における幕別町のBCP（事業継続計画）について	<p>5年前の東日本大震災、今年4月14日から短期間に震度7の地震が2度起きた熊本地震においても予想を超える災害が発生し、どれだけ対策を練ったつもりでも自然の猛威は軽々と人知を超えてしまうものであると改めて思い知らされた。</p> <p>しかし、自治体は大規模地震等による災害時対応を職員や庁舎、ライフライン等の必要資源が被災し混乱した状況下で、膨大な業務の中から優先すべき通常業務も遂行していかなければならぬ。そのためにBCP（事業継続計画）が重要になると考える。</p> <p>幕別町の地域防災計画にはBCPを策定・運用するように努めるとあるだけで計画策定にいたっていないのが現状である。さらに、ライフライン（道路・水道・下水道等）のBCP対策も必要であると考え、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 幕別町におけるBCP（事業継続計画）策定についての取組状況、非常時優先業務の整理について。 BCPに係る本庁舎の有する災害時の対応能力は。 データのバックアップ、ICT機器損傷（電算システム電源ダウン）の対応。 ライフライン（道路・水道・下水道等）のBCP策定の考えについて。

<p>2. 白銀台スキー場の営業について</p>	<p>近年道内では異常気象によって降雪が少なく、スキー場のオープンが12月中に出来ないというケースが増えている。白銀台スキー場においても過去10年間に50%が12月中にオープン出来ない状態であり、中でも平成25年度は営業期間が2月17日から3月15日までの27日間のみであった。</p> <p>忠類地域における冬季間の重要な観光資源であり地域経済にも寄与する白銀台スキー場の確実な早期オープンを実現するために、以下について伺う。</p> <p>1 管内スキー場（芽室嵐山、ぬかびら源泉郷スキー場）には人工降雪機があり、早期オープンを実現している。特にぬかびら源泉郷では、学生等のスキー合宿、競技大会の誘致を行っている。</p> <p>白銀台スキー場においても、12月オープンにより学生の合宿誘致等を可能にし、冬場の誘客を図り地域振興につなげるために人工降雪機を設置する考えは。</p> <p>2 リフト使用料は合併前の平成14年度の1,500万円をピークに、平成27年度では670万円と減少している。合併後において実施した町内小中学生のリフト料金無料化等の影響もあると考えられるが、町としてどのように分析しているのか。</p> <p>リフト使用料のあり方を見直し、スキー場利用者の利便性の向上を図り利用増につなげていく考えは。</p>
--------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。